リアス・アーク美術館収蔵作品による

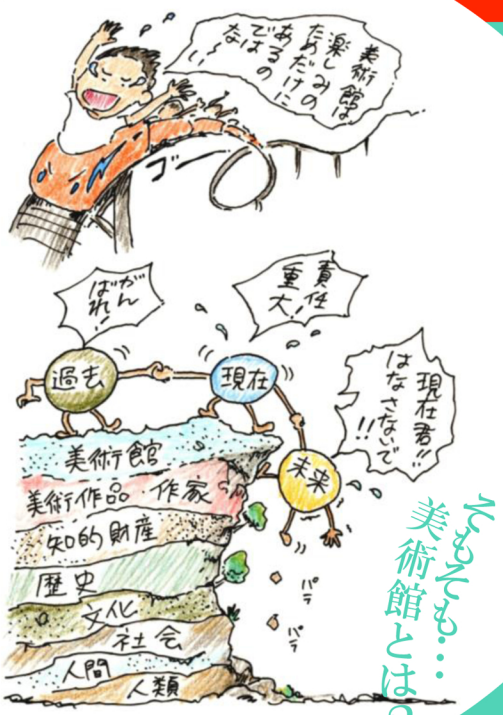
新たな船出展

美術再発見！

本展は、単に美術作品を鑑賞するだけではなく、改めて美術・美術館の面白さ、興味深さ、社会的な必要性、役割などを知る機会を提供しようとする展覧会です。

近代洋画作品、戦後現代美術作品（平面/立体）を中心とした美術作品、約 50 点を展示します。出品作品は全て当地域所縁の作家、あるいは当館において過去に紹介した作家の手によるものです。

展示構成は当館発行の美術普及冊子「読む美術館」を基に、美術の発生から現在に至るまでの美術表現の歴史、変遷を解説します。また現代における美術、美術家の社会的役割、美術館の社会的役割などを解説します。さらに、そういった解説を通して、美術作品の見方、楽しみ方を知ることのできる機会とします。



リアス・アーク美術館収蔵美術作品

当館は平成 6 年の開館以来、現代美術を中心に数多くの美術展を開催してきました。物故作家だけではなく若手作家を中心に美術界との関係を構築してきたことにより、現在当館は多くの作家との良好な関係を維持しており、その関係性を基礎にする当館には、現代美術を中心とする美術作品が各作家から寄託、寄贈されています。

現在、当館の収蔵作品は、基本的には当館で過去に企画展等を行った作家によるもので、その作品群からはリアス・アーク美術館の研究方針、教育方針、企画方針などを垣間見ることができます。また、開館以来継続してきた圏域在住児童・生徒による絵画公募展の入賞作品や近年、気仙沼市立図書館から移管された作品群なども加えることで、当地域の美術的背景を捉えることも可能なコレクションといえます。

イベント開催のご案内

本展の開催に合わせ、当館においてギャラリートーク、講演会などを開催いたします。また、圏域内各所（開催予定地：唐桑地区、本吉地区、歌津地区、志津川地区）にて美術と美術館についての講演会を開催いたします。講演のテーマは『人生をより豊かにする、美術、美術館の面白さについて！』を予定しています。いずれも参加は無料ですので、ぜひともお誘い合わせの上ご来場ください。

詳しくはリアス・アーク美術館ホームページをご覧になるか、または当館までお問い合わせください。（TEL：0226-24-1611）
（Email：riasark.m@nifty.com）

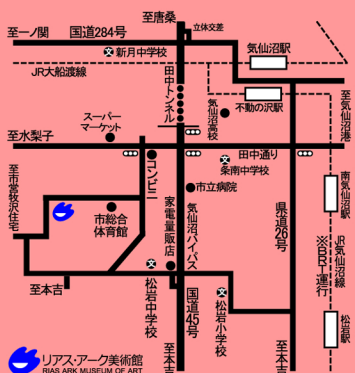
収蔵美術作品が展示されているアークギャラリー

リアス・アーク美術館ご利用案内

常設展＝[①美術作品展]・[②歴史民俗資料展＝方舟日記（はこぶねにっき）―海と山を生きるリアスなくらし―]・[③東日本大震災の記録と津波の災害史展]

常設展観覧料＝一般：500（400）円／大学・専門学生：400（300）円／高校生：300（200）円／小・中学生：150（100）円　※（）内は 20 名以上の団体料金

ワークショップ＝土・日を中心に使用できるアトリエです（学芸員が指導します）

レストラン「キッチンスペース夢の舎」＝地元食材中心の創作料理を提供しています

交通のご案内＝【JR】東北新幹線[一ノ関駅]～大船渡線[気仙沼駅]下車、東北新幹線[仙台駅]～気仙沼線[気仙沼駅]下車　※現在、気仙沼線は[柳津駅]～[気仙沼駅]間、大船渡線は[盛]～[気仙沼]間をBRT（JR 高速バス）にて運行中　※[気仙沼駅]からタクシー（約 20 分～）をご利用ください。※タクシー割引クーポン券販売中です。※路線バスは本数が少ないのでタクシーを推奨します。【お車】東北自動車道[一関 IC]から国道 284 号線経由約 60 km（約 70 分）／仙台市から約 120 km（約 150 分）／石巻市から約 70 km（約 80 分）／岩手県陸前高田市から約 25km（約 35 分）【バス】高速バス[仙台↔気仙沼]・[一関↔気仙沼]運行中　※BRT・バス運行等は関係機関へお問い合わせください。